【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成22年9月9日(2010.9.9)

【公表番号】特表2009-528975(P2009-528975A)
【公表日】平成21年8月13日(2009.8.13)
【年通号数】公開・登録公報2009-032
【出願番号】特願2008-539007(P2008-539007)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｄ 401/10　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 401/14　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 417/14　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 413/14　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 471/04　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/444　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/4439　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/497　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/4709　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/506　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/501　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 29/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 11/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 9/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 11/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 9/12　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 27/16　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 19/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 37/08　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 17/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 1/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 9/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/16　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/28　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 19/08　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 17/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｄ 401/10
Ｃ０７Ｄ 401/14　ＣＳＰ
Ｃ０７Ｄ 417/14
Ｃ０７Ｄ 413/14
Ｃ０７Ｄ 471/04　１０８Ｚ
Ａ６１Ｋ 31/444
Ａ６１Ｋ 31/4439
Ａ６１Ｋ 31/497
Ａ６１Ｋ 31/4709

Ａ６１Ｋ　31/506
Ａ６１Ｋ　31/501
Ａ６１Ｐ　29/00
Ａ６１Ｐ　11/00
Ａ６１Ｐ　 9/00
Ａ６１Ｐ　11/06
Ａ６１Ｐ　 9/12
Ａ６１Ｐ　27/16
Ａ６１Ｐ　19/02
Ａ６１Ｐ　37/08
Ａ６１Ｐ　17/06
Ａ６１Ｐ　 1/04
Ａ６１Ｐ　 9/10
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　43/00　　１０５
Ａ６１Ｐ　43/00　　１１１
Ａ６１Ｐ　25/00
Ａ６１Ｐ　25/16
Ａ６１Ｐ　25/28
Ａ６１Ｐ　25/06
Ａ６１Ｐ　25/02
Ａ６１Ｐ　19/08
Ａ６１Ｐ　17/02

【誤訳訂正書】
【提出日】平成22年7月16日(2010.7.16)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０４８７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０４８７】
ヒト白血球阻害アッセイ
ヒト白血球阻害アッセイの非限定的な例は、以下の通りである。同意が得られたヒトボランティアから採血した血液をヘパリン管に入れ、3%のデキストラン、0.9%の生理食塩水を等量添加した。赤血球の沈殿後、残存する赤血球の低張溶解を行い、白血球を1000rpmで沈殿させた。1mL当たり1.25×10^{5}個の細胞の該ペレットを再懸濁し、20%のDMSO(媒体)2.5μLまたは20%のDMSO中薬物2.5μLを入れた各ウェルに等分した。サンプルを37℃で5分間インキュベートし、カルシウムイオノフォアA23817(ハンクス液(Invitrogen)でのアッセイの直前に1.25mMに希釈した50mMのDMSOストックから)2μLを添加し、溶液を混合し、37℃で30分間インキュベートした。サンプルを、4℃において1,000rpm(約200×g)で10分間遠心分離にかけ、血漿を除去し、ELISA(Assay Designs)を使用して、LTB_4濃縮物について1:4希釈物をアッセイした。媒体LTB_4の50%阻害(IC50)を実現する薬物濃度は、阻害%対ログ薬物濃度の非線形回帰(Graphpad Prism)によって決定した。表1～4に提示した化合物は、このアッセイに関して1nM～5μMのアッセイ結果を有した。